

予算

特別会計

国民健康保険事業



0歳から74歳までの国民健康保険に加入されている方の医療費等を負担する会計です。主な歳出は、医療費の保険給付費11億9,008万円(▲6.9%)、後期高齢者支援金2億8,897万円(12.5%)です。

19億8,145万円(▲1.6%)

農業集落排水事業

十余三、島、牛尾・船越、林地区の下水を処理する会計です。主な歳出は、公債費(借り入れた地方債の元利償還金)8,257万円(0.6%)です。

1億4,870万円(2.3%)



介護保険事業



寝たきりや認知症などで介護を必要とする方の介護サービスを負担する会計です。主な歳出は、介護サービスの保険給付費10億56万円(15.5%)です。

10億6,039万円(14.6%)

学校給食センター事業



幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒等に給食する会計です。

2億12万円(4.4%)

老人保健

75歳以上の方の医療費を負担する会計ですが、平成20年4月から後期高齢者医療制度に変わりました。平成21年度は平成20年3月以前の医療費を負担するものです。主な歳出は、医療給付費408万円(▲97.6%)です。

515万円(▲97.5%)



後期高齢者医療

平成20年4月から老人保健事業に変わって始まった、75歳以上の方に対する医療制度のための会計です。主な歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金1億2,235万円(▲16.0%)です。

1億3,689万円(▲13.8%)



平成21年度がスタートしました。本年度の町財政の収支計画である予算の総額は、支出ベースで120億5,345万円。その編成は、行政施策の指針である基本構想と、これに基づく計画に沿って行いましたが、諸制度の改革による計画変更も考えられますので、今後も確実な財政措置に配慮しながら運営していきます。

水道事業



安全な上水を確保・供給する会計です。老朽管の更新や浄水場の施設を整備改良し、安定した上水の供給を行います。

●収益的収支
収入 3億3,119万円(▲4.7%)
支出 3億3,119万円(▲4.7%)
●資本的収支
収入 2億9,631万円(21.8%)
支出 4億1,027万円(11.5%)

国保多古中央病院事業

医療のほか訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、デイサービスセンターなどの事業を行う会計です。

●収益的収支
収入 18億7,956万円(3.5%)
支出 18億7,956万円(3.5%)
●資本的収支
収入 3億7,805万円(337.5%)
支出 4億2,227万円(213.2%)



企業会計



一般会計

一般会計の当初予算額は54億7,746万円(3.8%増)です。増額の主な要因は、役場庁舎および常磐小学校屋内運動場耐震補強事業や都市計画道路大谷・九蔵線整備事業を行うことによるものです。

主な歳入では、町税で19億9,152万円(5.3%減)、地方交付税で11億7,000万円(5.4%増)、町債で3億4,990万円(13.8%増)になっています。

一方、歳出を目的別にみると、町防炎行政無線固定局設置事業が終了したことにより総務費が9億3,786万円(10.7%減)、引き続き実施する町道飯笹・西古内線道路改良事業や都市計画道路大谷・九蔵線整備事業で土木費が6億9,357万円(43.9%増)、国保多古中央病院への繰入金で衛生費が8億9,218万円(10.9%増)、滞在型市民農園整備計画事業や無人ヘリコプター導入事業により農林水産費が2億7,434万円(15.6%増)になっています。

また、歳出を性質別にみると、普通建設事業費が8億3,142万円(17.0%増)と増えている一方で、職員の手当減等により人件費が12億3,044万円(0.9%減)になっています。

※一般会計の歳入と歳出(目的別)について詳しくは、8〜9ページをご覧ください。

特別会計と公営企業会計

特別会計6会計の当初予算総額は35億3,270万円(2.1%減)で、一般会計からの繰入金総額は5億5,438万円(5.4%増)です。後期高齢者医療制度の保険料軽減分を補完する保険基金安定繰入金が増額となり、介護保険給付費等の増額に伴って町負担額が増額となった一方で、老人保健特別会計では医療給付費が減額となりました。

また、公営企業会計2会計では、収益的支出総額が22億1,075万円(2.2%増)、資本的支出総額が8億3,254万円(65.6%増)で、一般会計からの繰入金は、両会計合わせて4億60万円(31.1%増)となっています。

町債と財政調整基金

町債とは、町が借り入れるお金のことで、一般会計における今年度の借入額は3億4,990万円、元金償還額(返済金のうち元金)は2億7,569万円です。年度末の借入残高は32億2,927万円と見込んでいます。

また、家庭における預貯金に相当し、収入減や支出増に備え積み立てておく財政調整基金について、今年度は歳出に対する不足額の穴埋めとして4億6,890万円を取り崩し、一般会計の歳入に繰り入れる予定のため、年度末の基金残高の見込額は12億1,298万円となります。

平成21年度予算の概要

※()内はすべて前年度比